SONY®

3-239-331-**01**(1)

TV(1-12ch)/FM/AM/NSB1・NSB2
PLLシンセサイザーラジオ
ICF-RN933/RN930

準備する

ラジオを聞く

時計を使う

その他

ラジオをもっとクリアに聞きたい

各部のなまえ

設定モード一覧

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

eco info **この説明書は**100%**古紙再生紙と**VOC**(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。この紙は再資源化できます。**

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜13ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

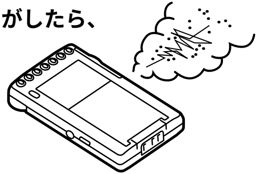
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. 電源を切る
2. ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
3. テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　破裂

行為を禁止する記号

接触禁止　禁止

分解禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く　指示

目次

⚠危険・⚠警告・⚠注意 6
電池についての安全上のご注意 10

準備する

付属品を確かめる 14
充電式電池で使う 15
乾電池で使う 18

ラジオを聞く

イヤーレシーバーを使う 20
選局方法について 21
日本短波放送（NSB1・NSB2）を聞く —*NSB選局* 22
現在いるエリア（地域）を設定して聞く —*スーパーエリアコール選局* 24
いつも聞く放送局を記憶させて聞く —*マイメモリー選局* 29
周波数を選んで聞く —*マニュアル選局* 32
受信状態をよくする 33
放送局や時刻を音声で確認する —*音声読み上げ機能* 34

ラジオを聞く

海外でAM放送を聞く 35
誤操作を防ぐ —*ホールド機能* 36

時計を使う

時計を合わせる 36
希望の時刻にブザーを鳴らす —*アラーム機能・タイマー機能* 38
一定の時間後に電源を切る —*パワーオートオフ機能* 42

その他

使用上のご注意 43
故障かな？と思ったら 46
主な仕様 50
保証書とアフターサービス 52
ラジオをもっとクリアに聞きたい 53
各部のなまえ 58
設定モード一覧 62

⚠危険

火災 破裂

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

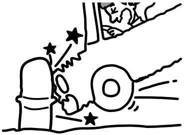
禁止

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

禁止



- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

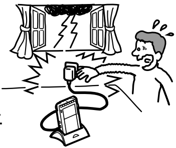
海外で使用しない

指示

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

接触禁止



感電の原因となります。

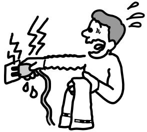
⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

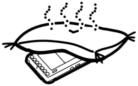
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、10～13ページの注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
（Ni-Cd）
ニッケル水素
（Ni-MH）
リチウムイオン
（Li-ion）

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠危険 バッテリーキャリングケースを付属している場合

付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、充電式電池をコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。電池の＋と－が金属とつながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがあるため、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の科学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。

  電池を飲み込んだとき
  窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。

- 機器の表示に合わせて ＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場など湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意　すべての電池について

使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。

お願い

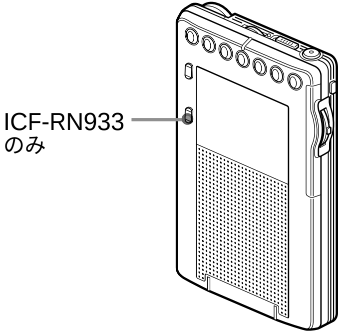
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

▶準備する

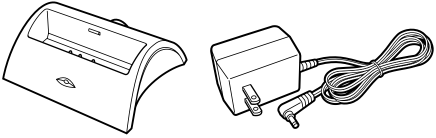
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- ラジオ本体（1）



- 充電スタンド*（1）
- ACパワーアダプター*（1）



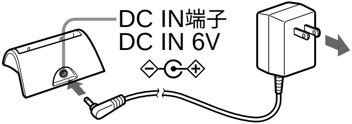
- 単4形充電式ニッケル水素電池*（1）
  （バッテリーキャリングケース付）
- 単4形（R03）マンガン乾電池
  （お試し用）**（1）
- キャリングケース（1）
- 取扱説明書（1）
- 周波数一覧表（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

* ICF-RN933に付属しています。
** ICF-RN930に付属しています。また付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

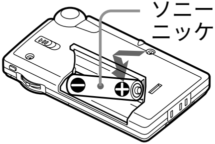
充電式電池で使う

はじめてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。
ICF-RN930をお使いの場合は、別売りのBCA-TRG2KITが必要です。

1 充電スタンドのDC IN端子と壁のコンセントにACパワーアダプターをしっかり差し込む。



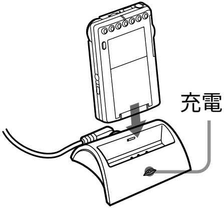
2 充電式電池を入れ、ふたを閉める。



電池ふたがはずれたときは、45ページをご覧ください。

3 ラジオ本体を充電スタンドにのせる。

充電スタンドの充電ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。



電池残量にかかわらず、充電スタンドにのせてから約6時間後に充電が終了します。充電中もラジオを聞くことができます。

ちょっと一言

- ラジオを聞きながら充電する場合も、約6時間で充電は終了します。
- TV、FM放送を聞くときは、使用しているイヤーレシーバー（内蔵または別売）のコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお聞きください。

ご注意
充電中にラジオ本体を充電スタンドから抜いてのせ直すと、充電終了までにかかる時間は、のせ直した時点から約6時間となります。充電中にラジオを聞くときも、ラジオを充電スタンドにのせたままにすることをおすすめします。

使用できる充電式電池
単4形充電式ニッケル水素電池 NH-AAA

ご注意
充電式ニカド電池は、電池の持続時間が短くなるため使用をおすすめしません。

充電にかかる時間
本機の充電はタイマー式です。電池の残量にかかわらず、充電スタンドにのせた時点から約６時間かかります。
充電が終了すると充電スタンドの充電ランプが消えます。

ちょっと一言
充電スタンドの充電ランプが消える前に、ラジオ本体を充電スタンドから抜いてもお使いいただけます。ただし、持続時間が短くなります。

充電中のご注意
- 充電は周囲の温度が0～35℃の環境で行ってください。
- 充電するときは、ラジオ本体を正しい向きでしっかりと充電スタンドにのせてください。正しくのっていないと充電されません。
- 充電開始時、充電スタンドの充電ランプが点灯していることを確認してください。
- 充電ランプが点滅しているときは、

－誤って乾電池を入れている
　充電式電池に入れ換える。
－何も入っていない
　そのままラジオをお聞きになれます。
　充電ランプは点滅したままです。
－充電式電池が正しい向きで入っていない。
　＋、－の向きを確かめ、正しく入れ直してください。

充電スタンドについてのご注意
- ICF-RN933に付属の充電スタンド（または別売充電キットBCA-TRG2KIT）は、本機専用です。指定機以外の充電はできません。
- 指定の電池（単4形充電式ニッケル水素電池）以外は充電しないでください。
- 充電中は充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険ではありません。
- ACパワーアダプターはAC 100V専用のため、充電スタンドは海外ではお使いになれません。

電池の持続時間

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池 NH-AAA 使用時

JEITA*

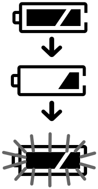
	TV	FM	NSB1・2	AM
イヤーレシーバー使用時	約21時間	約22時間	約29時間	約32時間
スピーカー使用時	約10時間	約10時間	約10時間	約12時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

再充電のめやす

電池が消耗すると次のように表示が変わります。残量表示を見て、再充電してください。

残量表示



充分

あと少し

カラ
残量がなくなると「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。
充電してください。

充電式電池の交換のめやす

十分に充電しても、持続時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。新しい電池と交換してください。充電池の寿命は、充電放電500回が目安です。

ちょっと一言

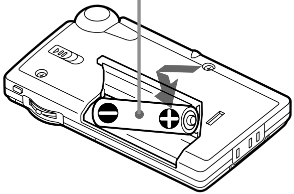
はじめて充電するときや、旅行などで長時間使用しなかったあとでは、持続時間が通常より短くなることがあります。何回か充電、放電を繰り返すと、通常の状態に戻ります。

電池交換時のご注意

10分以内に入れ換え、充電を開始してください。10分以上経過すると、現在時刻やマイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときは、もう一度設定してください。

乾電池で使う

乾電池を電池入れに入れ、ふたを閉める。



電池ふたがはずれたときは、45ページをご覧ください。

ちょっと一言
はじめて乾電池を入れると、「AM12：00」が点滅します。時計を合わせる（36ページ）と点滅は止まります。

乾電池の持続時間

ソニー単4形アルカリ乾電池(LR03)使用時

JEITA*

	TV	FM	NSB1・2	AM
イヤーレシーバー使用時	約32時間	約36時間	約45時間	約51時間
スピーカー使用時	約15時間	約15時間	約17時間	約18時間

ソニー単4形マンガン乾電池(R03)使用時

JEITA*

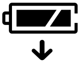
	TV	FM	NSB1・2	AM
イヤーレシーバー使用時	約13時間	約15時間	約20時間	約23時間
スピーカー使用時	約5時間	約5.5時間	約6.5時間	約6.5時間

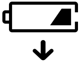
* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

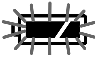
乾電池の交換のめやす

乾電池が消耗すると、次のように表示が変わります。残量表示を見て、乾電池が消耗しきったら、新しい乾電池に交換してください。

残量表示


充分


あと少し

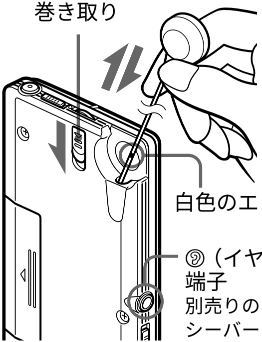

カラ
残量がなくなると「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。新しい乾電池と交換してください。
交換後、電源ボタンを押すと、残量表示は「」(充分)に変わります。

電池交換時のご注意

10分以内に入れ換えてください。10分以上経過すると、現在時刻やマイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときはもう一度設定してください。

▶ラジオを聞く

イヤーレシーバーを使う



引き出す

コードを持って引き出す。

巻き取る

イヤーレシーバーのコードを持ちながら巻き取りつまみを矢印の方向にずらす。

イヤーピースが収納部に納まるまで手を添えてください。

途中でコードが止まってしまったときは

コードを10cmほど引き出して、もう一度巻き取りつまみを矢印の方向にずらしてください。

ご注意

- イヤーピースを持ったまま引き出すと、故障の原因となります。
- コードは、白色のエンドマークが見えたら、それ以上無理に引っ張らないでください。
- TV、FM**放送を聞くときは、使用しているイヤーレシーバー（内蔵または別売）のコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお聞きください。**
- ◎（イヤーレシーバー）端子にイヤーレシーバーをつなぐと、内蔵のイヤーレシーバーから音は出なくなります。
- イヤーレシーバーを耳につけたまま巻き取らないでください。コードが顔に強く当たることがあります。
- 放送を聞きながらコードを引き出したり巻き取ったりすると、雑音が聞こえる場合があります。
- 手を添えないでいきおいよく巻き取ると故障の原因になります。

選局方法について

選局方法は、放送により異なります。

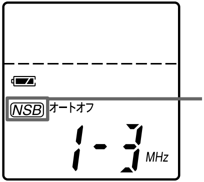
日本短波放送(NSB1・NSB2)**：**NSB選局で受信します。

TV／FM／AM**放送：**スーパーエリアコール選局、マイメモリー選局、マニュアル選局のいずれかで受信します。

これら4種類の選局方法の機能について説明します。

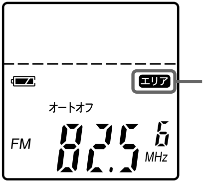
NSB選局（日本短波放送のみ）

日本短波放送(NSB1・NSB2)を受信します(22ページ参照)。
手動で周波数を切り換えることもできます(23ページ参照)。



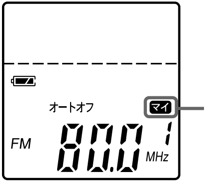
スーパーエリアコール選局

あらかじめ本機に記憶されたエリア(地域)ごとの主な放送局を受信します(24ページ参照)。



マイメモリー選局

いつも聞く放送局を自分で記憶させ、記憶させた放送局を受信します(29ページ参照)。



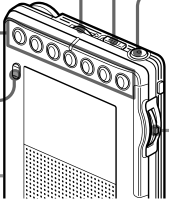
マニュアル選局

聞きたい放送局の周波数に合わせて受信します(32ページ参照)。

日本短波放送(NSB1・NSB2)を聞く —NSB選局

TV、FMやAM放送とは異なり、季節、時間、場所によって音が大きくなったり小さくなったり、時にはまったく聞こえなくなることがあります。

ラジオたんぱ第1放送(NSB1)とラジオたんぱ第2放送(NSB2)を選局できます。



1 電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。

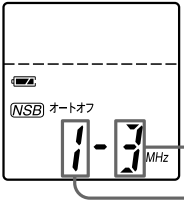
表示窓に「〇━」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「〇━」表示を消してください。

2 ◎／◁切り換えスイッチで◎（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。

◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 NSBボタンを繰り返し押して、NSB1またはNSB2を選ぶ。

最も電波の強い周波数を自動的に選びます。

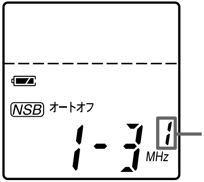


4 音量つまみで音量を調節する。

手動で周波数を切り換えるには

電波状態によっては、自動的に選ばれた周波数よりも他の周波数の方が受信状態が良い場合があります。
受信状態が悪い場合は、手動で周波数を切り換えてください。
手動で周波数を切り換えるには、プリセット選局ボタン(１～7)を押すか、ジョグレバーを上下に動かします。
3MHz､6MHzまたは9MHzに切り換えられます。

例）プリセット選局ボタン「1」で3MHzを選んだ場合



NSB選局から他のバンドに切り換えるには

ジョグレバーを押します。

日本短波放送を最も良い状態で聞くためには

以下の点に注意してください。

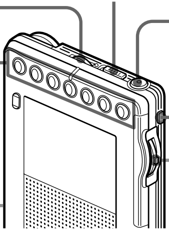
- ラジオたんぱ第1放送（NSB1）とラジオたんぱ第2放送（NSB2）は、それぞれの放送内容を3種類の周波数（3MHz、6MHz、9MHz）で同時に放送しています。受信状態が悪いときは、周波数を切り換えてお聞きください。
- 乗り物や建物の中で聞く場合は、なるべく窓際で聞いてください。

33ページ「受信状態をよくする」も、あわせてお読みください。

現在いるエリア(地域)を設定して聞く

—スーパーエリアコール選局

ラジオをお使いのエリア(地域)を設定しておくと、プリセット選局ボタンを押すだけで、その地域のTV、FM、AMの代表的な放送局を選局できます。



エリア（地域）一覧

エリア	エリア名	含まれる場所
1	**北海道**	北海道
2	**東北**1	青森　秋田　岩手
3	**東北**2	宮城　山形　福島
4	**関東**1	千葉　埼玉　東京　神奈川
5	**関東**2	茨城　群馬　栃木
6	**中部**	山梨　静岡　長野
7	**東海**	愛知　岐阜　三重
8	**北陸**	新潟　富山　石川　福井
9	**近畿**1	大阪　京都　兵庫
10	**近畿**2	滋賀　奈良　和歌山
11	**中国**	鳥取　島根　岡山　広島　山口
12	**四国**	徳島　香川　愛媛　高知
13	**九州**1	福岡　佐賀　長崎　大分
14	**九州**2	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
15	JR	東海道、山陽新幹線の新型車両内。グリーン車内は除く。

現在いるエリアを設定する

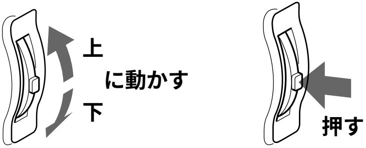
一度設定した後は、26ページの操作に従ってスーパーエリアコール選局できます。
ラジオをお使いになるエリア(地域)が変わったら、エリアを設定し直してください。

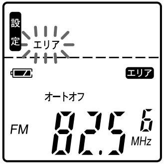
1 **電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。**
表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

2 **👂／◁切り換えスイッチで👂（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。**
👂を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 **設定／ノイズカットボタンを押す。**

4 **ジョグレバーを上下に動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。**

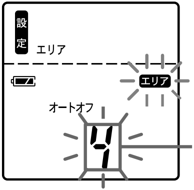




次ページへつづく

5 ジョグレバーを上下に動かしてエリアを選び、ジョグレバーを押す。

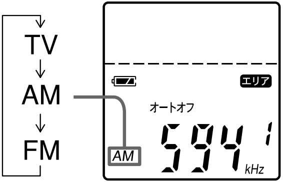
エリアが設定されます。



つづけて、設定したエリア内の放送局を受信できます。

6 ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。

押すたびにバンド表示が変わります。



7 プリセット選局ボタン（1〜7）を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

放送局はあらかじめプリセット選局ボタンに記憶されています。詳しくは付属の「周波数一覧表」をご覧ください。

プリセット選局ボタンは2秒以上押さない

2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに受信している放送局がマイメモリー（29ページ）に記憶されます。2秒以上押してしまったボタンにお好きな放送局を記憶させていた場合、記憶させていた放送局が入れ換わってしまいます。ご注意ください。

8 音量つまみで音量を調節する。

設定したエリアの放送局をスーパーエリアコール選局する

現在いるエリア（地域）の設定を終了しているときは、以下の操作で設定したエリアの放送局（付属の「周波数一覧」参照）をスーパーエリアコール選局できます。

1 電源を入れる。

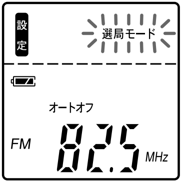
表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

2 👂／🔈切り換えスイッチで👂（イヤーレシーバー）または🔈（スピーカー）を選ぶ。

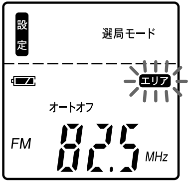
👂を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 設定／ノイズカットボタンを押す。

4 ジョグレバーを上下に動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。



5 ジョグレバーを上下に動かし「【エリア】」を選び、ジョグレバーを押す。



6 ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。

7 プリセット選局ボタン（1〜7）を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

プリセット選局ボタンは2秒以上押さない

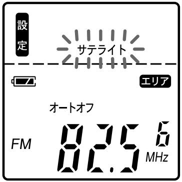
2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに受信している放送局がマイメモリー（29ページ）に記憶されます。2秒以上押してしまったボタンにお好きな放送局を記憶させていた場合、記憶させていた放送局が入れ換わってしまいます。ご注意ください。

スーパーエリアコール選局で受信したままでは良く聞こえないときは

サテライト局(同地域で同じ放送をしている局)を持つ放送局のときは、サテライト局を受信することで、受信状態がよくなる場合があります。サテライト局の有無と、プリセットされているサテライト局の数は、付属の「周波数一覧表」をご覧ください。また、地域によっては、一部放送内容が異なる場合があります。

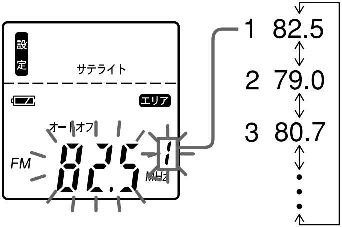
1 **設定/ノイズカットボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを上下に動かして「サテライト」を選び、ジョグレバーを押す。**



3 **ジョグレバーを上下に動かして、良く聞こえる周波数が表示されたらジョグレバーを押す。**

例) 関東1/NHK FMの場合



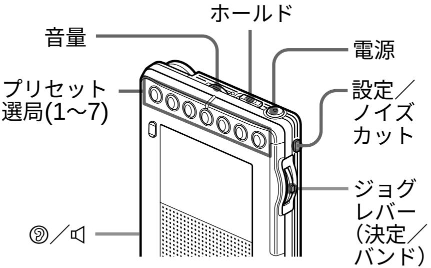
ご注意

- 放送局の中にはサテライト局を持たない局もあります。その場合、ジョグレバーを上下に動かしても周波数は変わりません。
- NSB選局、またはマイメモリー選局やマニュアル選局ではこの操作方法を使ってサテライト局を受信することはできません。
- ラジオの電源が切れているときは、エリアを切り換えられません。
- ラジオをお使いの場所以外のエリアを選んでも、放送局を受信できることがあります。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く
—マイメモリー選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AMそれぞれ7局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット選局ボタンを選ぶだけで受信できます。

> **ご注意**
> 日本短波放送（NSB1・NSB2）を記憶させることはできません。



放送局を記憶させる

1 電源を入れる。

表示窓に「○━┳」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「○━┳」表示を消してください。

2 🎧／◁切り換えスイッチで🎧（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。

🎧を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 記憶させる放送局を受信する。

スーパーエリアコール選局（24ページ）またはマニュアル選局（32ページ）で放送局を選びます。

4 記憶させたいプリセット選局ボタン（1〜7）を選んで、「ピピッ」と音がするまで2秒以上押したままにする。

「エリア」または「マイ」が点滅します。

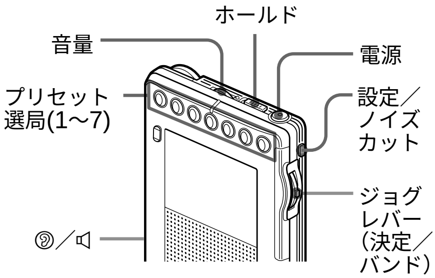
次ページへつづく

5 ジョグレバーを上下に動かして「エリア」または「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。

「エリア」または「マイ」が点灯し、受信している放送局が手順４で押したプリセット選局ボタンに記憶されます。

ラジオは、手順5で選んだ「エリア」（スーパーエリアコール）または「マイ」（マイメモリー）の選局モードで受信中になっています。つづけて放送局を記憶させたいときは、手順3〜5を繰り返してください。

記憶させた局を聞く

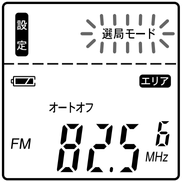


1 電源を入れ、👂／🔈切り換えスイッチで👂（イヤーレシーバー）または🔈（スピーカー）を選ぶ。

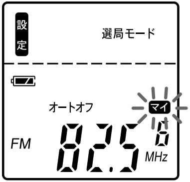
👂を選ぶとスピーカーから音は出ません。

2 設定／ノイズカットボタンを押す。

3 ジョグレバーを上下に動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。



4 ジョグレバーを上下に動かして「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。



5 ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。

6 プリセット選局ボタン（1〜7）を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

プリセット選局ボタンは2秒以上押さない
2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに、記憶されていた放送局が受信している放送局に入れ換わってしまいます。ご注意ください。

7 音量つまみで音量を調節する。

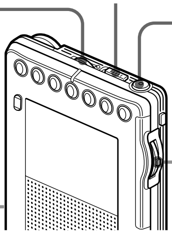
記憶させた放送局を変更する

「放送局を記憶させる」の手順4で、放送局を変更したいボタンを押します。
前に記憶させた放送局は消え、受信している放送局が記憶されます。

周波数を選んで聞く

—マニュアル選局

周波数をTV、FM、AMの各放送局の周波数に合わせて受信します。



1 電源を入れる。

表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

2 ⑨／◁切り換えスイッチで⑨（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。

⑨を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

4 ジョグレバーを上下に動かして、聞きたい放送局に合わせる。

ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります（FMでは0.1MHz、AMでは9kHz／10kHz、TVでは1チャンネルずつ）。放送局の周波数が合うと、放送が聞こえます。

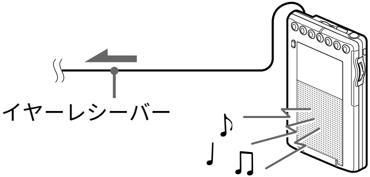
AM周波数ステップ（間隔）を切り換えるには、35ページをご覧ください。

5 音量つまみで音量を調節する。

受信状態をよくする

TV／FM放送の場合

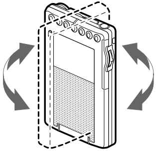
使用しているイヤーレシーバー（内蔵または別売）のコードがアンテナとして働きます。
内蔵イヤーレシーバーを使用するときは、白色のエンドマークが見えるまでコードを引き出して、できるだけ長く伸ばしてお使いください。スピーカーで聞くときも同様に、コードを引き出してください。



別売のイヤーレシーバーを使用するときは、⑨端子に別売のイヤーレシーバーをつなぎ、コードをできるだけ長く伸ばしてください。内蔵のイヤーレシーバーを引き出す必要はありません。

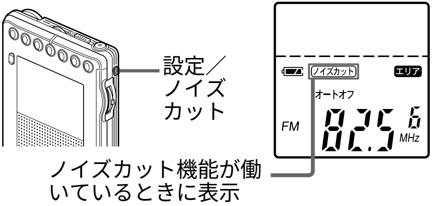
日本短波放送（NSB1 ・NSB2）／AM放送の場合

アンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。もっとも良く受信できる向きにしてお聞きください。



電波が弱く、雑音が気になるときは

ラジオ受信中に、設定／ノイズカットボタンを2秒以上押してください。



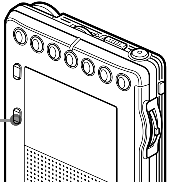
ノイズカットを解除する

設定／ノイズカットボタンを2秒以上押すと表示窓の「ノイズカット」が消えます。

放送局や時刻を音声で確認する

—音声読み上げ機能(ICF-RN933のみ)

受信している放送局の周波数や放送局名、および現在の時刻を音声で確認できます。



ラジオ受信中に確認する

音声ボタンを押す長さによって、読み上げる内容が異なります。

音声ボタンを押す（2秒以下）。

「ピッ」と音がして、受信している放送局の周波数または放送局名を読み上げます。どちらを読み上げるかは、選局方法によって異なります。

選局方法	読み上げる内容
NSB選局	放送局名
スーパーエリアコール選局	放送局名
マイメモリー選局	放送局名または周波数
マニュアル選局	周波数

「ピピッ」と音がするまで（2秒以上）音声ボタンを押す。

現在の時刻を読み上げます。読み上げているあいだは時刻が表示されます。

ラジオの電源を切っているときに確認する

現在の時刻だけを音声で確認できます。

音声ボタンを押す。

ボタンを押す長さに関係なく、現在の時刻を読み上げます。

ご注意

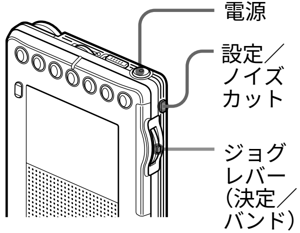
- 音声読み上げ機能は、AM周波数ステップを「10kHz」にした場合は使えません。
- 音声ボタンはホールド機能が働いていると操作できません。

海外でAM放送を聞く

—AM周波数ステップ(間隔)を切り換える

受信するAM周波数ステップ(間隔)を、お使いになる国にあわせて切り換える必要があります。工場出荷時、このラジオは9kHzに設定されています。

地域	周波数ステップ
北米・南米の国々	10kHz
日本国内・その他の国々	9kHz



1 電源ボタンを押してラジオの電源を切る。

2 設定／ノイズカットボタンを「ピピッ」と音がするまで（5秒以上）押したままにする。

設定されている周波数ステップ（「9kHz」または「10kHz」）が点滅します。

3 ジョグレバーを上下に動かして周波数ステップを選び、ジョグレバーを押す。

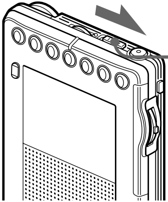
選んだ周波数ステップに切り換わります。

周波数ステップ(間隔)を元に戻すには、手順1〜3をもう一度行ってください。

ご注意

- 周波数ステップを切り換えると、プリセット番号に記憶しておいた放送局が消えます。
- 時計表示は変わりません。
- **周波数ステップを「10kHz」に切り換えると、NSB選局、スーパーエリアコール選局やTV音声の受信、および日本国内（9kHzステップ地域）でのAM放送の受信はできません。**

誤操作を防ぐ —ホールド機能



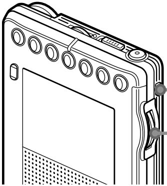
ホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、表示窓に「⊶」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールド機能を解除する

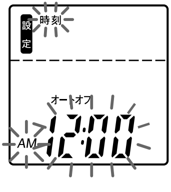
ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かすと表示窓の「⊶」が消えます。

▶時計を使う

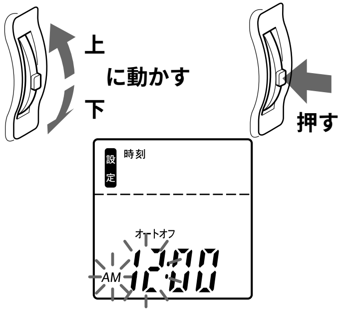
時計を合わせる



1 設定／ノイズカットボタンを押す。
表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。



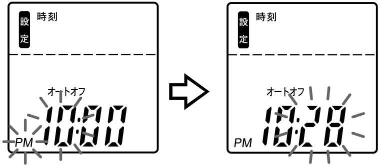
2 **ジョグレバーを上下に動かして「時刻」を選び、ジョグレバーを押す。**



3 **ジョグレバーを上下に動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。**

AMは午前、PMは午後です。

AM12:00 ＝ 真夜中、PM12:00 ＝ 正午



4 **手順3と同じ操作で分を合わせ、ジョグレバーを押す。**

表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

時報（電話117番など）と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。

設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

ご注意

設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

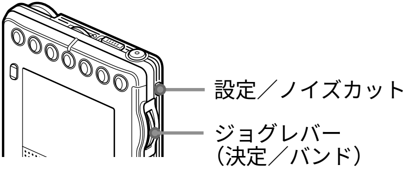
希望の時刻にブザーを鳴らす —アラーム機能・タイマー機能

ラジオの電源の入切にかかわらず、希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。
時刻の設定には2通りの方法があります。

- アラーム ：何時何分と時刻を設定する
- タイマー ：1分後から180分後（3時間後）まで、1分刻みで設定する

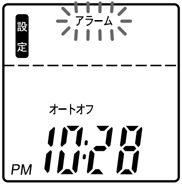
アラームを設定する

アラーム機能を使うときは、「時計を合わせる」（36ページ）必要があります。
操作をはじめる前に、必ず時計合せを行ってください。

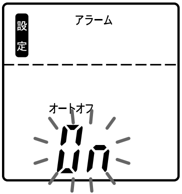


1 設定／ノイズカットボタンを押す。

2 ジョグレバーを上下に動かして「アラーム」を選び、ジョグレバーを押す。

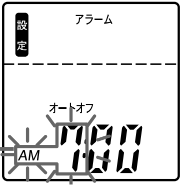


3 ジョグレバーを上下に動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。



4 ジョグレバーを上下に動かしてブザーを鳴らす「時」に合わせ、ジョグレバーを押す。

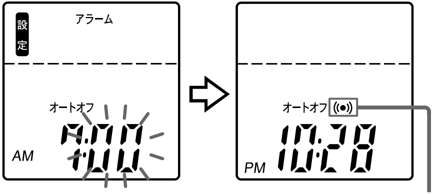
例）午前7時に鳴らす



アラーム設定をしている間点滅

5 手順4と同じ操作で「分」を合わせ、ジョグレバーを押す。

手順1を行う前の状態に戻り、「((•))」が表示されます。



アラーム表示

設定した時刻になるとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。

アラームを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「((•))」が消えます。

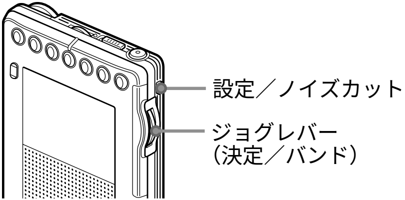
設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

ご注意

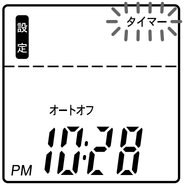
- 時計を合わせていないとき（「AM 12:00」が点滅している状態）はアラームを設定できません。
- アラームの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

タイマーを設定する

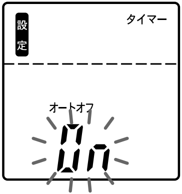


1 **設定／ノイズカットボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを上下に動かして「タイマー」を選び、ジョグレバーを押す。**



3 **ジョグレバーを上下に動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。**

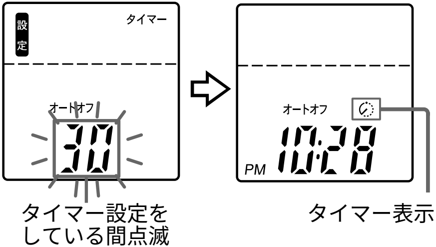


4 **ジョグレバーを上下に動かして何分後にブザーを鳴らすかを選び、ジョグレバーを押す。**

手順1を行う前の状態に戻り、「⏲」が表示されます。

1分後から180分後（3時間後）まで、1分刻みで設定できます。

例）30分後に鳴らすとき



設定した時間が経過するとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。
ブザーを止めるとタイマーは解除されます。

タイマーを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「⏲」が消えます。

設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

ご注意

- タイマーの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

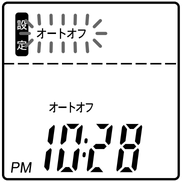
一定の時間後に電源を切る

—パワーオートオフ機能

ラジオの電源の消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、一定時間(30分、60分、90分、120分)が過ぎると自動的に電源が切れるように設定できます。この機能を解除することもできます。

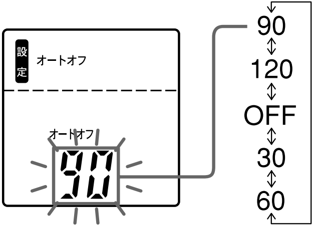
1 設定／ノイズカットボタンを押す。

2 ジョグレバーを上下に動かして「オートオフ」を選び、ジョグレバーを押す。



3 ジョグレバーを上下に動かして設定したい時間を選び、ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。



パワーオートオフ機能を解除する

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「オートオフ」が消えます。

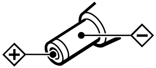
ちょっと一言

充電スタンドにのせてラジオを聞いているときもパワーオートオフ機能は働きます。ラジオを聞き続けたいときは、手順3で「OFF」を選び、機能を解除してください。

使用上のご注意

ACパワーアダプターについて

- ICF-RN933に付属のACパワーアダプターまたは「別売りアクセサリー」に記載されている「ラジオ用充電キットBCA-TRG2KIT」のACパワーアダプターをご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



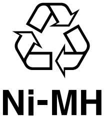
極性統一形プラグ　JEITA規格

- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターの本体部を持って抜いてください。
- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

温度上昇について

本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

充電式電池の廃棄について



このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

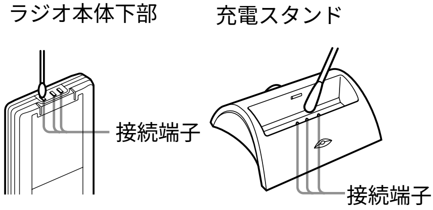
お手入れについて

本機のお手入れについて

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

接続端子のお手入れについて

定期的にラジオ本体と充電スタンドの各接続端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

取り扱いについて

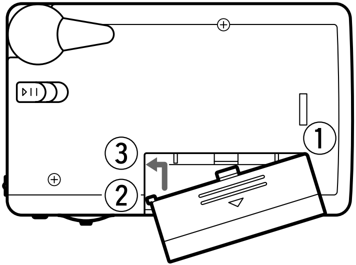
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ（40℃以上）。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  ーほこりの多いところ。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。

- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。
  このときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。



① ふたの右のツメを穴に差し込み、
② 左のツメをふたが収まる部分の左側に引っ掛ける。
③ そのまま左のツメを穴に向けて滑らせる。

故障かな？と思ったら

テクニカルインフォメーションセンターまたはサービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	電池を入れる向きが正しくない。	充電式電池または乾電池を正しく入れる。
	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	ACパワーアダプターがきちんと差し込まれていない。	ACパワーアダプターを充電スタンドの端子とコンセントにしっかり差し込む（15ページ）。
	音量が最小になっている。	音量つまみで音量を調節する。
ラジオ本体を充電スタンドにのせているのに、ラジオが聞こえない	ACパワーアダプターがきちんと差し込まれていない。	ACパワーアダプターを充電スタンドの端子とコンセントにしっかり差し込む（15ページ）。
日本短波放送が良く聞こえない	受信している周波数が適切でない。	放送が最もよく聞こえる周波数を手動で選ぶ（23ページ）。
	季節、時間、場所によって音が小さくなったり、まったく聞こえなくなる。	放送が最もよく聞こえる周波数を手動で選ぶ、またはラジオの向きを変えてみる。乗り物や建物の中で聞くときは、なるべく窓際で聞く（23、33ページ）。

症状	原因	処置
雑音が多く、音が悪い	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
	イヤーレシーバーを引き出していない（TV、FM受信時）。	イヤーレシーバーを白色のエンドマークが見えるまで引き出す（TV、FM受信時はイヤーレシーバーがアンテナになります）。
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などを本機から離して使用する。
プリセット選局ボタンを押しても、聞きたい放送局が受信できない	正しい番号のプリセット選局ボタンを押していない。	聞きたい放送局のプリセット選局ボタンを押す。
	正しいエリアを選んでいない。	設定メニューで「エリア」を選んで、現在ラジオを使っているエリア（地域）を設定する（24ページ）。 それでも受信できない場合は設定メニューで「サテライト」を選んで、サテライト局を設定する。 エリアによって記憶されている放送局は異なります。付属の「周波数一覧表」をご覧ください。
	NSB選局になっている。	「記憶させた局を聞く」を操作し、TV／FM／AMのプリセット局を受信する。

次のページへつづく

症状	原因	処置
表示窓の文字や記号が見づらい	極端に暑い場所や寒い場所で使っている。	温度が高いところ（40°C以上）や低いところ（0°C以下）では表示が見にくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。
マイメモリー選局ができない	「選局モード」が「 マイ 」になっていない。	もう一度マイメモリー選局を設定する（29ページ）。
日本短波放送をマイメモリー選局できない	日本短波放送を記憶することはできない。	NSBボタンを何回か押して放送局を選ぶ（22ページ）。
NSB放送、TV音声、AM放送の受信やスーパーエリアコール選局ができない	AM周波数ステップが「10kHz」になっている。	「9kHz」に切り換える（35ページ）。
ラジオの電源が突然切れた	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	パワーオートオフ機能が働いている。電源を入れてから設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになっています。	パワーオートオフ機能を解除する（42ページ）。
充電スタンドの充電ランプが点灯しない	ラジオ本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。
	ラジオ本体が正しい向きで充電スタンドに置かれていない。	正しい向きで充電スタンドに置く（15ページ）。

症状	原因	処置
充電スタンドの充電ランプが点滅している	乾電池が入っている。	充電式電池を入れる。
	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れる。
	充電式電池を入れる向きが正しくない。	正しい向きで充電式電池を入れる。
充電式電池の持続時間が短い	0°C以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	しばらく使用していなかった。	何回か充電、放電（ラジオ本体に入れ使用する）を繰り返す。（17ページ）
	充電式電池の交換が必要。	新しい充電式電池と交換する。
乾電池の持続時間が短い	0°C以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	電池が消耗している。	新しい単4形乾電池と交換する（19ページ）。

正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。
修理内容により、マイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。
重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

ラジオ本体

受信周波数

	周波数範囲	周波数ステップ
TV	1-12チャンネル	1ch
FM	76～108 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz 530～1,710 kHz	9 kHz 10 kHz
NSB1	3.925 MHz 6.055 MHz 9.595 MHz	— — —
NSB2	3.945 MHz 6.115 MHz 9.760 MHz	— — —

スピーカー　直径2.8 cm、丸形7.2Ω 1個

出力端子　⑨端子（ミニジャック Φ3.5 mm）1個

実用最大出力　80 mW (JEITA*1)

電源　DC 1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池1個
DC 1.5 V、単4形乾電池1個

パワーオートオフ機能
約30分、60分、90分、120分、解除の5段階

最大外形寸法　約55 × 91 ×12.4 mm (突起部含まず)
約58.5 × 92 × 15.4 mm (突起部含む)
(幅/高さ/奥行) (JEITA*1)

質量　ICF-RN933：約66 g（充電式ニッケル水素電池含む）
約63 g（乾電池含む）
ICF-RN930：約62 g（乾電池含む）

充電スタンド*2

電源	DC 6 V
最大外形寸法	約73.2 ×29.8 × 57.5 mm (幅/高さ/奥行) (JEITA*1)
質量	約48 g

ACパワーアダプター*2

電源	DC 6 V、AC 100 V、50/60 Hz
最大外形寸法	約44 × 59.5 × 39.5 mm (幅/高さ/奥行) (コード含まず) (JEITA*1)
質量	約162 g

別売りアクセサリー

ラジオ用充電キット　BCA-TRG2KIT
（充電スタンドBCA-TRG2、ACパワーアダプター、単4形充電式ニッケル水素電池（バッテリーキャリングケース付）のセットです。）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
*2 ICF-RN933にのみ付属しています。

主要部のはんだ付けに無鉛はんだ使用。
主要部のプリント配線板でハロゲン系難燃剤を不使用。
イヤーレシーバーコードに塩ビ不使用。
待機時電力0.3W以下。（ACパワーアダプターを充電スタンドに接続し、ラジオ本体をのせていない状態）**

** ICF-RN933

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ラジオをもっとクリアに聞きたい

ご存じですか？...ラジオのこんなこと。

室内や電車の中などでは電波が弱く、ラジオがはっきり聞こえない！という経験をされた方も多いかと思います。
でも、ちょっとした工夫で、あなたのラジオを今までよりスッキリハッキリ聞くことができるんです。

では早速そのポイントをご紹介しましょう。

ラジオ全般についての記載をしていますので、お買い上げになったラジオにあてはまらない内容も含まれています。

Point 1　ラジオはアンテナが命。

地上に飛び交う電波を拾うのがアンテナです。アンテナには指向性（受信感度の良い方向と悪い方向）があるので、ラジオがもっともよく受信できる方向に動かす必要があるのです。

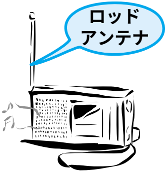
**放送の種類が違うと
アンテナの調整のしかたも違う？**

そうなんです。

放送の種類によってアンテナの調整方法が違うのです。では、ラジオを聞きながら実際にアンテナを調整してみましょう。

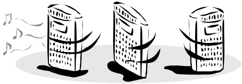
TV、FM、SW(NSB)放送を聞くときは？

ロッドアンテナがついている場合はいっぱいに伸ばし、ラジオが一番よく聞こえる方向にロッドアンテナを動かします。



AM(MW)、LW、NSB放送を聞くときは？

アンテナがラジオ本体に内蔵されているので、ラジオの向きを変えてみます。（ロッドアンテナがついていないラジオでNSB放送を聞くときもラジオの向きを変えてください。）



・・一番よく聞こえる向きが見つかりましたか？

TV、FM放送を聞くときは？

リードアンテナを一番よく聞こえる方向に動かします。

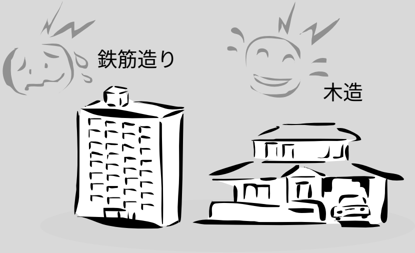
ロッドアンテナもリードアンテナもついていないラジオはどうすればいいの。

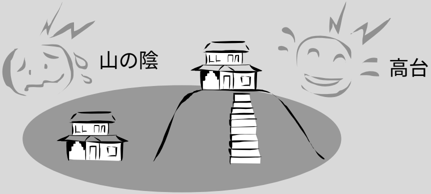
なんと、イヤホンコードがリードアンテナの役割をしているのです。イヤホンコードをいっぱいに伸ばして一番よく聞こえる方向を探してみてください。また、スピーカーがついているラジオを、イヤホンではなく、スピーカーで聞く場合も必ずイヤホンコードを伸ばしてくださいね。

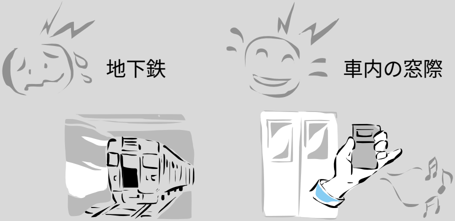
Point 2

聞く場所が大切。

家が鉄筋造りだと木造よりも電波が届きにくいことをご存知ですか？さらに、高台にある家と低い場所にある家でも違いがあります。
電車も同じです。場所によっては電波の届きかたが全然違うのです。

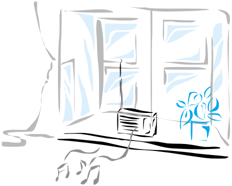






できるだけ窓のそばで

電波は外から入ってきます。出来るだけ窓のそばで聞きましょう。
窓の向きによっても違いがあるので、一番よく聞こえる窓を探してみてください。
いかがですか？

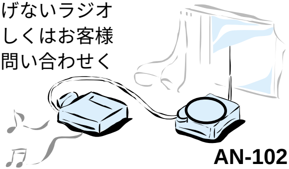


外部アンテナを使ってみる（ソニーのワールドバンドレシーバー）

ロッドアンテナや外部アンテナ端子のついているラジオでは別売りの外部アンテナを利用する方法もあります。

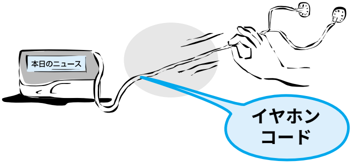
別売り外部アンテナ：
室内用　AN-102、AN-LP1
屋外用　AN-1

外部アンテナをつなげないラジオもありますので、詳しくはお客様ご相談センターへお問い合わせください。



AN-102

FMラジオが聞こえるのに文字放送が見られないのはなぜ。



文字放送は、通常のラジオ放送に比べて受信感度が悪くなることがあります。
イヤホンコードがアンテナとして働きますので、スピーカー付きのラジオをスピーカーで聞く場合も必ずイヤホンコードは伸ばしてください。

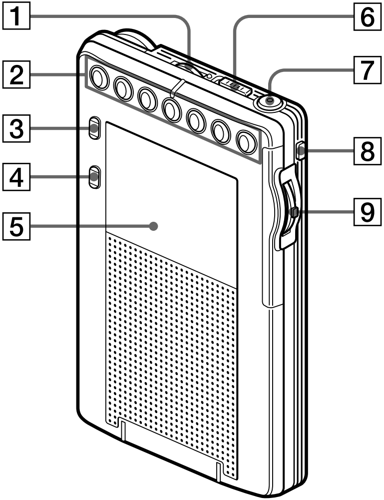
Point
3

ラジオが鳴らない！
突然電源が切れる！
すぐに電源が切れる！

乾電池が消耗すると音が小さくなったり、ひずんだりします。そのときは、すべて新しい乾電池と交換してください。
オートオフ機能が付いているラジオの場合はオートオフ機能が働いているので再び電源を入れてください。

各部のなまえ

本体表面



1 **音量***1

2 **プリセット選局（1～7）***
（26～27、29、31ページ）

3 NSB（NSB1・NSB2）

4 **音声***2

5 **表示窓**（60ページ）

6 **ホールド**

7 **電源**

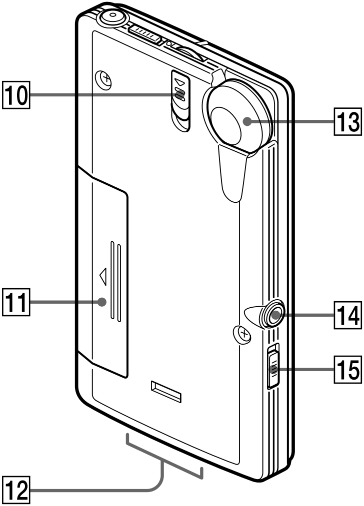
8 **設定／ノイズカット**

9 **ジョグレバー（決定／バンド）**
（25、37ページ）

*1 音量ダイヤル近くの音量を上げる側とプリセット選局の4番（中央）のボタンには凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

*2 ICF-RN933のみ

ラジオ本体裏面



10 **巻き取り**（20ページ）

イヤーレシーバー使用後はこのつまみを矢印の方向にずらしてコードを巻き取ります。

11 **電池入れ**（15、18ページ）

12 **充電スタンド接続端子**

13 **イヤーレシーバー**（20ページ）

14 **◎（イヤーレシーバー）端子**

別売りのイヤーレシーバーをつないで聞くことができます。（Φ3.5mm モノラルイヤーレシーバー）

15 **◎／◁切り換え**

◎（イヤーレシーバー）に合わせるとイヤーレシーバーから、◁（スピーカー）に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

表示窓

1 **設定モード名表示**

2 **ノイズカット表示**（33ページ）
ノイズカット機能が働いているときに表示される。

3 **電池残量表示**（17、19ページ）
電池の残量が表示される。

4 **オートオフ表示**（42ページ）
パワーオートオフ機能が設定されているときに表示される。

5 TV・FM・NSB・AM**バンド／**
AM・PM**表示**
受信中は受信している放送局のバンド、電源を切っているときは時刻の午前／午後（AM／PM）が表示される。

6 **ホールド表示**（36ページ）
ホールド機能が働いているときに表示される。

7 **エリア表示**（25ページ）
スーパーエリアコール選局モードで受信しているときに表示される。

8 **アラーム表示**（39ページ）
アラームが設定されているときに表示される。

9 **マイ表示**（29ページ）
マイメモリー選局モードで受信しているときに表示される。

10 **タイマー表示**（41ページ）
タイマーが設定されているときに表示される。

11 **プリセット選局番号表示**
（31ページ）
プリセット選局で受信しているときは、選択されているプリセット選局ボタンの番号が表示される。また、サテライト局を選ぶときに番号が表示される。

12 **ラジオ周波数／時刻表示**

設定モード一覧

電源	モード名（参照ページ）	機能
入っていても切ってあっても設定可能	時刻設定（36）	時刻を合わせる
	アラーム設定（38）	設定した時刻にブザーを鳴らす
	タイマー設定（40）	設定時間後にブザーを鳴らす
	パワーオートオフ設定（42）	自動的に電源を切る（120分・90分・60分・30分・OFF）
入っている時のみ設定可能	選局モード（NSB／エリア／マイ）設定（22・24・29）	NSB：　NSB選局で日本短波放送（NSB1・NSB2）を聞く エリア：　スーパーエリアコール選局で選局した放送局を聞く マイ：　マイメモリー選局で記憶させた放送局を聞く
	エリア設定（25）	ラジオを使う地域を選ぶ
	サテライト設定（28）	サテライト局を選ぶ
	ノイズカット（33）	電波が弱く雑音が気になるときに表示させる

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話:048-794-5194
受付時間:月－金　午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax …………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Printed in Japan